

第8回通常総代会

平成二十一年度通常総代会を五月十九日、日義中央公民館において、総代一六七名（委任状を含む）の出席を頂き開催致しました。栗屋副組合長の開会の言葉に続き、浦沢組合長より挨拶がありました。

「合併当時を振り返ると、赤字決算が続き苦しい時代を過ごしてきました。ここ数年は黒字の決算を見ることができ、これも組合員の皆様とお集まり頂いたご来賓各位のおかげと心から感謝を申し上げる。これからは切捨てから搬出間伐の時代になる。当組合でも高性能林業機械を新たに導入して作業路網の整備を行い、搬出して木材の有効利用を積極的に考えていく。ま

た、一つの事業を始めるには非常に広範囲な作業が必要になり、組合員の皆様にも色々とご相談をし、ご意見を伺いながら事業を進めていくの

で、今後もご支援とご協力を

お願いしたい。」



と述べました。



下廣氏を議長に選出し、スマートな議事進行の下、平成二十一年度事業報告等全七議案が審議され、原案どおり可決・承認されました。総代の皆様からは多様なご質問やご意見が出されました。



その後、木曾地方事務所長代理林務課長山口勝也様、木曾森林管理署長川瀬政輝様、県森連会長代理田中高徳専務よりご挨拶を頂戴し、関係町村長、林協代表者等の来賓をご紹介しました。

事業計画

平成二十一年度

平成二十一年度は依然として経済の停滞が続くと想定されますが、国は林業政策の中で間伐事業の推進、とりわけ搬出間伐に重点を置いた林業政策を掲げ促進しています。当組合としても、昨年に引き続き長期計画を見据えた、組合員の所有林等を主体的に施業の集約化・団地化を進め、作業道（路）の開設による路網の整備、高性能林業機械の導入による適切な搬出間伐の促進、人材の育成を図りつつ、森林整備を進めていく考えです。

平成21年度決算 平成22年度計画

(単位：千円)

部 門	21年度計画		21年度決算		達成率	22年度計画	
	取扱高	収 益	取扱高	収 益		取扱高	収 益
指 導	1,300	0	1,962	△412	151%	2,100	△100
販 売	76,500	20,000	58,599	23,667	77%	40,800	21,400
森 林 整 備	174,340	72,452	166,827	84,925	96%	86,000	74,300
利 用	19,350	2,825	19,310	1,733	100%	43,500	9,300
福 利 厚 生	0	0	0	0		0	30
購 買	8,100	1,620	8,536	1,551	105%	6,480	1,620
金 融	0	0	8	2		0	0
森 林 整 備 部 門 計	201,790	76,897	194,681	88,211	96%	135,980	85,250
事 業 総 利 益	279,590	96,897	255,242	111,466	91%	178,880	106,550
一 般 管 理 費						105,800	
事 業 外 損 益						1,000	
経 常 利 益						1,750	
特 別 損 益						0	
当 期 純 利 益						3,154	
前 期 緑 越 剰 余 金						4,526	
当 期 未 処 分 剰 余 金						7,680	

平成21年度 剰余金処分案

(単位：円)

科 目	積 算 内 訳	内 訳	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金				9,614,572
II 剰余金処分類				
1 法定準備金	当期剰余金の5分の1		2,000,000	
2 任意積立金 (損失補填積立金)			2,000,000	
III 次期緑越剰余金				5,614,572

脚注：次期緑越剰余金中教育情報資金は300,000円である。

10月30日 森林所有者の皆様にはご足労頂き、有難うございました。今後も各地区において実施していくので、ご理解ご協力をお願い致します。

地区懇談会の開催状況

10月30日 日義砂ヶ瀬地区
10月21日 新開橋詰地区
10月8日 木祖村ウルシ沢地区
9月28日 塩尻市贊川地区
7月27日 王滝村崩越地区
7月13日 王滝村二子持地区
7月12日 開田高原中沢団地
7月8日 日義巾団地①
7月5日 日義巾団地②
6月28日 開田高原十八谷団地
6月14日 開田高原大見沢団地
6月10日 福島万郡団地
4月22日 新開西洞地区
4月20日 開田高原夕山団地
3月29日 木祖村大笹沢団地